

令和3年11月1日

独立行政法人国立病院機構
高松医療センター院長 殿

日本 ALS 協会香川県支部
支部長 岩本 豊

患者・家族のパソコン等利用アンケートの結果より（お願い）

日ごろより、支部活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、今年度香川県支部ではコロナ禍での活動として、オンラインでの交流会や茶話会等を計画する上での参考とするために、患者・家族のパソコン等利用アンケートを6月に実施しました。

その結果、入院患者会員から高松医療センターへの要望が出てまいりました。香川県支部として検討した結果は下記のとおりですので、よろしくご対処いただけますようお願い申し上げます。

記

要望 「視線入力とはOTの仕事の範疇にない。」と言われたが、視線入力の姿勢や故障というほどではない場合にOTに相談にのってほしい。また、別の患者から「意思伝達装置の担当を置いてほしい。」という意見も伺っています。

そこで、香川県支部として下記の2点をお願いいたします。

○まずは、患者の話を聞き相談にのってほしい。相談内容によって、できそうなことであればご支援をお願いしたい。

○難病拠点病院として、入院中のALS患者等のQOLの向上を図るためにも、意思伝達装置（視線入力を含む。）にかかわる相談や支援ができる担当を置くなど、相談支援態勢を整えていただきたい。

※連絡先

〒761-8014 高松市香西南町 4-38
日本 ALS 協会香川県支部事務局 岩本 仁美
Tel 087-881-1666
Email ganalskagawa42@ma.pikara.ne.jp